



埼玉県舞踊協会
NO.40

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：中村 友美
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

伸びゆく彩の国さいたまの子もたちによる

第49回 バレエ・モダンダンス・フェスティバル

(会場)川口リリアメインホール(入場無料)
(月日)2016年3月6日(日)

①第48回全国舞踊コンクール上上入賞者(2名) ②マヤバレエスタジオ(原島マヤ)
②和加枝舞踊研究所(小林和加枝) ③中村友美・上田仁美モダンバレエスタジオ
③藤井・上原舞踊研究所(藤井 香・上原尚美) ④川名今朝美モダンバレエスタジオ
④室内納子モダンバレエスタジオ ⑤バレエ団ピッコロ(松崎すみ子)
⑤バレエスタジオ ル・シエル(伊藤一枝) ⑥谷 乃梨絵モダンダンススタジオ
⑥吉田久木子モダンバレエ研究所 ⑦すまきよこモダンバレエ教室
⑦細川初枝モダンバレエスタジオ (出演順)

「Fujisaki」
埼玉県舞踊協会会長 中村友美

自然災害が多発したこの秋、被害を受けた方々の御苦勞のニュースを見る度何かお役に立つことをせねばと胸が痛みます。TVに流れた研究者の説によると4000年ごとに訪れる現象の年々か、防災についてしっかりと認識し準備せねばなりません。

埼玉県舞踊協会は猛暑の中(8/22~29)埼玉県並びさいたま市関係他、多くの方々のご支援御協力により第48回埼玉全国舞踊コンクールを無事成功裡に終え、秋の恒例であるステージワン公演を9/19・20(土・日)の国さいたま芸術劇場小ホールにて若い力の創作と演技の結集で好評に終えることが出来ました。10/11(日)地域住民との文化交流を目的にジュニアバレエフェスタをさいたま市文化センターのご協力でホール前の広場で開催致します。11/1(日)には狂言とのコラボレーションによるコレオグラフィの目vol.14足袋「草・くさむす」をいしがや能楽堂にて開催致します。同じく11/1(日)2005国民文化祭かごしまに、協会員応募から選ばれた若野信子作品「Window」が参加致します。新鋭中堅の協会員、理事等が担当し活躍致します。

芸術の秋、協会員の皆様には各地域に於ける文化祭等々活躍の場が多数あると思います。チャンスを見逃さず是非、地域文化活動に参加なさってバレエ・モダンダンスの芸術性を発表なさってください。

皆様の今後の御活躍ご発展を期待し祈念申し上げ、ごあいさつと致します。

第48回 埼玉全国舞踊コンクール

2015年7月22日(水)~29日(水)
さいたま市文化センター 大ホール・小ホール

主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(公財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/(一社)埼玉県文化団体連合会/
朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社/東京新聞/毎日新聞さいたま支局/
読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット株/(一社)現代舞踊協会/
(公社)日本バレエ協会/(公財)橘秋子記念財団



クラシックバレエ

第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橘秋子賞・津田節子賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

縄田花怜
澤野 葵
宇田美久
松浦祐磨
山本涼杏
中島 耀
布瀬川桃子
岡田紗綾
長澤愛華
松丸更紗
堀内文音
石原璃子
山内彩未

クラシックバレエ 2部 (児童)

歴史のあるこのコンクールでこのような賞を頂くことができるともうれいいます。先づ、私を支えてくれた方々に感謝をし、これからは努力してがんばっていきなさい。ありがとうございました。

クラシックバレエ ジュニアの部

第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橘秋子賞・津田節子賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

宮原詩音
吉江絵璃奈
竹津菜奈
石川ひなの
長谷川華
増原 聖
田代華梨
廣本袖帆
小笠原祥真
山西美那
利田有咲
千野円句
深津安優果

帰りの新幹線の中で1位を受賞したと連絡を受けたとき、とても驚きました。時間が経つにつれて嬉しい気持ちでいっぱいになりました。指導して下さった先生やサポートしてくれた家族にとっても感謝しています。

クラシックバレエ 1部 (成人)

第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橘秋子賞・津田節子賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

皆川七海
西田悠乃
田代幸恵
石原朱莉
大塚 卓
菊池彩美
水友香里
齋藤香蓮
佐藤優美
金子真也
庭 秀美
山田若葉
松本美樹

伝統あるこのコンクールで1位をいただき大変光栄です。今回の受賞を糧にして、舞台上で輝くダンサーになるために、これからも日々努力していきなさいと思います。

評
クラシックバレエ 2部
舞踊評論家 林 愛子

ひとたび舞台上に立つたなら、誰の手助けもな、これまでのレッスンで重ねてきた成果を得るために、たった一人で踊る。大人でも容易でないのに、児童という年齢の方がヴァリエーションを見せられるコンクール。その表現意欲と集中力の高さは感銘を受けます。今年(2015)の夏には、初めて第48回埼玉全国舞踊コンクールにおけるクラシックバレエ児童の部の決選審査に参加させていただきました。

この伝統あるコンクールの決選審査で感じ入ったのは、出場者の皆さんがきれいな首のライン、しなやかな四肢の持ち主であること。その皆さんのほとんどがそれぞれ作品に役柄の特徴を身体表現も豊かに一生懸命をうとしていたことでした。

本来なら、幕をおして作品全体の流れのなかでの役柄を表現して踊られるものですが、この見せ場のヴァリエーションだけを抜き出して踊る方が公演やコンクールでは、プロフェッショナルのダンサーでもかなりの集中力を必要とするといわれます。たとえば、「白鳥の湖のオティールのヴァリエーション」なら王子を誘惑する妖しさや強さを、「アルレキナー」なら自ら自づと明るさを、「ワグネル」なら恥じらいと可憐さを、「眠れる森の美女」なら第一幕の初々しいオーロラ姫と第三幕の結婚式で

の自信に満ちたオーロラ姫といつたぐあいに、テクニクと同時に役柄の解釈も打ち出さなければならぬからでしょう。

音楽によって人間の感情や考えを表現するオペラやシンフォニー、台詞という言語を用いて人間の心や思想を表現する演劇の音楽と演劇の両方の要素をもつバレエやモダンダンスはなんと素晴らしい表現芸術でしょうか。音楽も演劇も舞台にかけられるようになるまでには、そうとうの時間を要しますが、バレエもまたテクニクの習得にかなりの時間を積み上げなければなりません。そして素晴らしいことに、それは指導の先生方と生徒さんとの深いコミュニケーションのたまに成り立っています。

パノコやスマホなどすぐに答えが得られるとは、筆者の子供時代には考えられなかったほど、より効率的により早く結果を出そうという風潮が強くなり、待つこと相手の顔を見て話すのが苦手な若者も増えていくといわれます。そんな時代の傾向とは反対のところにあるバレエを見てみると、ほとんどの場合、継続と力なりという言葉の重みを改めて噛み締めている次第です。

評
クラシックバレエ ジュニアの部
舞踊評論家 伊地知優子

筆者が審査に参加したクラシックジュニア部門(中学・年・高校・年)は、予選を勝ち抜いた170名が決勝に進出しました。

第48回という老舗のコンクールは、基礎技術の習得に10年かかるというクラシックバレエの中でも、ジュニアの年齢層は、特に技術面が伸び盛りの時です。子どもから大人へと変化する体型と共に関節と機能も変化していきます。内面の成長も著しい時期です。本人も指導者も体調の変化に気が付かず調整に手間取ることもあります。コンクール出場の数か月前には作品の稽古に入っているでしょうか。本番までのわずかな半年ほどの稽古の仕方、ぐっと伸びる人と壁にぶつかるとあるいは守りに終始する人との違いも出てきます。それを見越した演目選びも指導者の大切な仕事といえるでしょう。

この年齢層でこそ出せる味わいを大切にすれば完成された大人の魅力をはいから上手い子どもが踊っても、表現すべき人物像にはとても届きません。子どもに年齢に応じた表現力を引き出すのが望ましい成長のあり方だと思います。たまにフットワークの技術力の子がいますが、その上手さは役柄の表現を導き出すためのものではありません。技術力を見せるために難しい役を踊るのではなく、ジュニアでその少女の魅力や若さを生かした美しさや力強さ、あるいは脆さや弱さなど、若者特有の内面性をいかに追求できるかがポイントです。ですから、オーロラなら3幕ではなく1幕を選んで16歳の無垢な少女を最も魅力的に踊る人を見たいですし、オティールやエスメラルダの色気は「大人」を見せられる将来の役とし、今は、たとえば若

者の輝きが魅力になるキトリやスワニールのよう娘なら、大人の雰囲気を作り出す必要はありませんし、金髪を洗練された砂糖菓子にすることも出来ます。もちろん成長と力量の個人差による例外はありますが、今回さすがに上位入賞者たちはプロ予備軍といえる力量の持ち主で、なかでも内から溢れ出るような女の情感を歌い上げた「ガムザッティ」の竹津菜奈は、演技ではなくバレエの動きそのもので見事に人物を描写した点で、バレエ芸術の到達点をゆく将来が期待されます。

コンクールの順位は、100点満点の1点から5点の差でまちまち2~3番、時には5番くらい下がることもあります。実際はほとんど差のない相手か前後にぞろぞろ連なっているといえます。上位5~6番以内とか10番以内くらいの大雑把なとらえ方で気持ちに余裕をもつて見つけるのもいいと思います。

評
クラシックバレエ 1部
舞踊評論家 うらまこと

「ベストシックスを中心に充実した上位陣」

第48回を迎えた埼玉全国舞踊コンクール。わが国で2番目に長い歴史をもつ舞踊コンクールです。埼玉のコンクールは埼玉県舞踊協会、つまり地元の舞踊家たちがいろいろと努力して立ち上げ、工夫して練り上げてきたものです。

したがって、手作りの良さを生かしつつ、しかしレベル的には多くのコンクールの頂点にたつ、わが国を代表するコンクールの1つとなっています。

増加するコンクール、少子化などいろいろな理由により、このコンクールも参加者は減少傾向にありますが、平均的レベルはむしろ高くなっています。

クラシックバレエ1部、成人の部は、参加者84名、この人数は他の多くのコンクールに比べて多く、そのなかでの決選進出者50名、過半数が進出しているにもかかわらず、ほとんどが基礎、技術も一定のレベルを超えています。

第1位から第3位の3まで上位6人は、具体的な順位は別にしてベストシックスといつて良いと思います。とくに1位の皆川七海(ワグネル)は、スタイルのバランスもよく、身体を大きく使いつながら爪先の動きは繊細で、とても目を惹きました。2位の1と2の西田悠乃と田代幸恵はともにオーロラの1幕、技術の高さを印象つけた西田、全体のまとめで留まった田代と、対照的に興味をもてました。優れたジェゼルが多かった中で、とくに3位の1の石原朱莉は緩急巧みに役の雰囲気を表現、あとは佐藤優美や山田若葉など、パキータのエトワールも成人に向いた作品ですが、菊池彩美(3位)は魅力的なプロポーションを生かしてアピール、やや下位でしたが、坂本菜々、郷翠も結構。上位6人に続くガムザッティの水友香里も伸び伸びとした柔らかい動きで、同じく海賊の齋藤香蓮も同等の力。他

埼玉県民芸術文化祭 2016 参加

第49回 埼玉全国舞踊コンクール2016

(会場)さいたま市文化センター 大ホール・小ホール(入場無料)
(日時)2016年7月21日(木)~28日(木)
(主催)埼玉県舞踊協会(共催)(公財)さいたま市文化振興事業団

コンクールへの参加はホームページからのみ受付いたします
【埼玉県舞踊協会ホームページ】
<http://www.saitamaken-buyoukyukai.jp>
※注意事項をよく見てお間違えのないようお申し込み下さい。
沢山の方々のご参加お待ちしております。

